

たかへし

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

守・破・離

校長 加納 直樹

皆さんは「守・破・離(しゅ・は・り)」という言葉をご存知でしょうか。私は小学生時代、映画「燃えよドラゴン」を観て、ブルース・リーにあこがれ、空手に興味をもった時期がありました。その当時、近所に住んでいた空手を習っていた先輩が折に触れ口にしていたのがこの言葉です。当時は十分に言葉の意味も考えず、空手の技の分類ぐらいにしか思っていませんでした。ところが大人になって、改めてこの言葉と出会ったとき、その意味を知り、奥の深さを感じずにはいられませんでした。

この「守・破・離(しゅ・は・り)」は、茶道や武道といった世界で、修行における考え方を表したものです。「守」「破」「離」それぞれの段階でどのようなことを意識して、練習や実践をすればよいのかを示しています。「レベル1=守」「レベル2=破」「レベル3=離」といったところでしょうか。「レベル1=守」は、決まった作法や型を守る段階、「レベル2=破」は、その状態を破って作法や型を自分なりに改良する段階、「レベル3=離」は独自の世界を開く段階です。

本年度、私は高井戸第四小学校着任2年目を迎えております。児童・保護者・地域の願いや思い、高井戸第四小学校のこれまでの歴史と伝統を受け継いだ昨年度が「守」だとすると、今年度は「破」の段階にあたります。

「学校」という決められた「型」の中で、「高四小ならではの教育」を目指して、「生き方科」の導入、ICTを活用した児童の表現力の育成など、今まで行ってきた教育課程全体を見直し、改善するとともに、実践の構築に取り組んでいます。また、コミュニティ・スクールとして学校運営協議会やPTA組織とのさらなる協働体制の確立や、幼小中の連携推進を含む学校組織の改革にも取り組んでいきます。さらに、「安全・安心な学校」として、教育環境の整備や生活指導、特別支援教育の充実も不可欠です。

来年度、校長3年目を迎え、「離」の段階に入ります。コロナの終息後の新たな教育活動をスタートさせる年と考えています。地域と共に歩む高井戸第四小学校の歴史と伝統を大切にしながら、いい意味で「型破り」な学校を創っていきたいと思います。

最後になりましたが、新年あけましておめでとうございます

昨年中は保護者・地域の皆様には本校の教育活動へのご支援・ご協力いただき、ありがとうございました。本年も教職員一同、子供たちのために力を合わせて頑張ってまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。